

# たか、し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 挑戦 そして 思いやり

校長 加納 直樹

令和3年度が始まりました。この度、細川猛彦校長先生の後を受け、高井戸第四小学校の校長を拝命しました「加納直樹」です。置かれ場所でしっかりと花を咲かせられるよう、頑張っていきたいと思います。

さて、本年度の学校教育目標は、昨年度同様、○進んで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子 ○協働する子です。そして、目指す児童像を「自ら未来を切り拓き 心豊かで たくましい児童」としました。

さらに、目指す学校像を「○子供たちみんなが友達や先生に会いたいと登校してくる高井戸第四小学校 ○保護者からこの学校に子供を通わせてよかったと思われる高井戸第四小学校 ○地域の方から愛され、地元の誇りだと感じてもらえる高井戸第四小学校」としました。

学校教育目標の具現化に向け、始業式、入学式で子供たちに小学校生活を有意義に過ごすために必要な2つの心構えについて話をしました。

一つは、「挑戦し続ける心」です。何事にも清く正しい目標をもち、一步一步努力を惜しまず挑み続ける心、そんな気持ちを大切にしたいと思っています。夢や目標が大きければ大きいほど、「無理かも」「うまくいかないかもしれない」といった弱い気持ちが生まれてきます。しかし、「絶対にやるんだ」と強く思うことからすべては始まります。願えば願うほど、自分の力は大きくなる、そう信じて「できない」を「できる」に変えていくのです。人の力は未来に向かって必ず大きくなっていきます。自分で限界を決めず、今日できなくても明日きっとできるようになる、そう信じることが、大きく成長し、夢をかなえる近道です。

もう一つは「思いやりの心」です。他人の痛みや苦しみ、喜びを自分のことのように感じる事ができる「思いやりの心」。中国の孔子という人の言葉を集めた「論語」の中にも、この世で一番大切なこと、一生実行し続ける価値のあることとして、思いやりの心を挙げ、「互いにゆるし合い、自分がされていやなことは、決して人にはしない」という思いやりの心をもち続けることが大切である。」と述べています。他人を思いやることは自分を見つめ直すことになります。思いやりにより互いに助け合う友達の輪ができます。そして、思いやりは行動のエネルギーにもなります。そのエネルギーは、学校生活を楽しく充実させることにつながります。

「挑戦する心」「思いやりの心」この二つの心を大切にすることで、皆が生き生きと活動し、笑顔あふれる高井戸第四小学校を実現することができる、そう信じています。

教職員一同、全力を挙げて児童一人一人の成長のために努力していきます。人格形成の基礎となる成長著しい小学校時代です。学校と家庭が同じ方向を目指し、協力していくことが何よりも重要です。ぜひご家庭でも、お子さんの日々の姿、努力のあとをしっかりと見つめ、時には温かく、時には厳しく、守り、励ましていただきたいと思います。未来を担う高四の子供たち、地域の方も必ず応援してください。

学校・家庭・地域が一丸となって、よりよい学校づくりを目指した取り組みを進めていきたいと思っています。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

いま始まる新しいいま

川崎 洋

心臓から送り出された新鮮な血液は  
十数秒で全身をめぐる  
わたしはさっきのわたしではない  
そしてあなたも  
わたしたちはいつも新しい

さなぎからかえったばかりの蝶が  
生まれたばかりの陽炎の中で揺れる  
あの花は

きのうはまだ蕾だった  
海を渡ってきた新しい風がほら  
踊りながら走ってくる  
自然はいつも新しい

きのう知らなかったことを  
今日知る喜び  
きのうは気づかなかったけど  
きょう見えてくるものがある

日々新しくなる世界  
古代史の一部がまた塗り替えられる  
過去でさえ新しくなる

きょうも新しいめぐり合いがあり  
まっさらの愛が  
次々に生まれ  
いま初めて歌われる歌がある

いつも いつも  
新しいいのちを生きよう  
いま始まる新しいいま